

9月の野菜

ニンニク



Let's 家庭菜園

営農課 ● 岩本 悠太

特徴

冷涼な気候を好みますが、耐寒性はあまり強いわけではありません。また、耐暑性にも弱く、夏には枯れて休眠期に入ります。

肥料を多く与えすぎると裂球の原因となるので、むやみに多量施肥しないようにすることが大切です。

栽培のポイント

①種球を小片にばらす時は病斑がついているかを確認し、あれば取り除きましょう。

②食用部の肥大を阻害させないために、2本目以降の芽が出てきたら取り除きます。花のつぼみも同じ理由で取り除きましょう。

③湿度が高いとニンニクが腐りやすくなるので、晴天の日を選んで収穫しましょう。

一口メモ

ニンニクは球だけではなく、若い葉の状態でも収穫すれば葉ニンニクに、とう立ちした花茎を伸ばして利用すれば茎ニンニクとなり用途が広がります。いずれも炒めたり、ゆであえ物にしたり、サラダに用いたりして味わうことができます。

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植えつけ									●●	●●		
収穫期					●	●						

第2回 12月
量は1回目と同じ
畝間に肥料をまいて軽く土をかぶせる



第3回 2月下旬
量、施し方は2回目と同じ

第1回 10月
列の片側に肥料をまいて軽く土と混ぜる



<畝の長さ1m当たり>
化成肥料 大さじ1杯 油粕 大さじ3杯

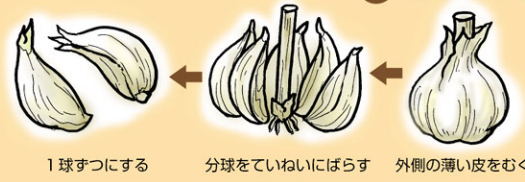
4 追肥

<1㎡当たり>
石灰 大さじ3~5杯
油粕 大さじ3杯
化成肥料 大さじ3杯

畑が空きしだい全面に元肥をばらまき、15cmくらいの深さによく耕す

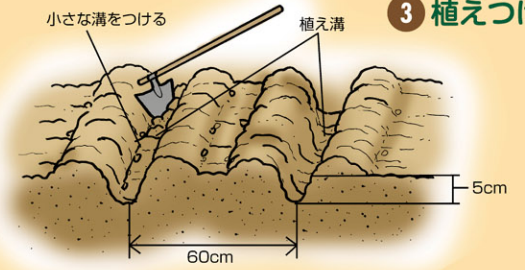


2 種球の準備



1球ずつにする 分球をていねいにばらす 外側の薄い皮をむく

3 植えつけ



小さな溝をつける 植え溝 5cm 60cm

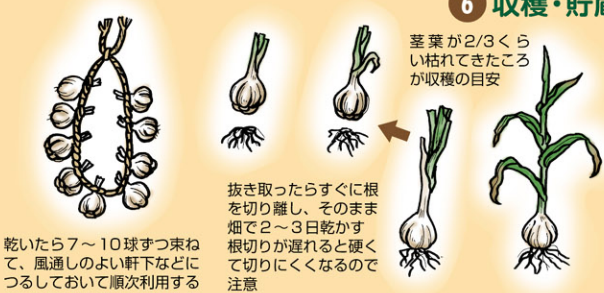
5 わき芽かき・摘蕾



春になり、とう立ちして、葉の先端より長く伸び出たらつぼみを早めに摘み取る。摘み取ったつぼみは食べられる。

分球し、芽が2本伸びた株があれば1本を取り除く。残す球の根本を押さえてかき取る。

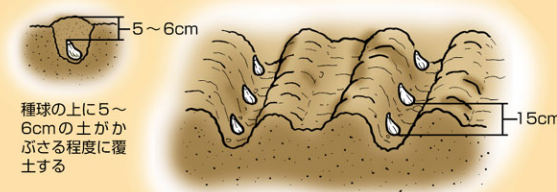
6 収穫・貯蔵



茎葉が2/3くらい枯れてきたころが収穫の目安

抜き取ったらすぐに根を切り離し、そのまま畑で2~3日乾かす。根切りが遅れると硬くて切りにくくなるので注意

乾いたら7~10球ずつ束ねて、風通しのよい軒下などにつるしておいて順次利用する



種球の上に5~6cmの土がかぶる程度に覆土する